子宮頸（けい）がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種の費用を助成します

期限は3月31日㈯まで！

問 総合保健センター☎0422-46-3254

人 次の対象年齢に該当する市民

ワクチン	対象年齢	接種回数	助成後の接種費用
子宮頸がん予防ワクチン	中学1～3年生の女子	3回	1回1,600円
ヒブワクチン	生後2カ月以上5歳未満（5歳の誕生日の前々日まで）	1～4回（※）	1回900円
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2カ月以上5歳未満（5歳の誕生日の前々日まで）	1～4回（※）	1回1,100円

※開始年齢によって接種回数が異なります。

物 健康保険証、母子手帳（ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種の方）

申 市内協力医療機関に予約のうえ、予診票（協力医療機関に設置）を記入し、原則保護者同伴で接種を受け、窓口で自己負担金を支払ってください。子宮頸がん予防ワクチン接種時に保護者が同伴しない場合、保護者同意書が必要です。

◆4月1日以降の助成について

平成24年度の助成について、厚生労働省が延長の姿勢を示しているため、市では、子宮頸がん予防ワクチンは4月1日より中学1年生から3年生になる女子を、ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンは接種時に生後2カ月～5歳未満のお子さんを対象に助成を行う予定です。

子宮頸がん予防ワクチンについては、現在中学3年生の女子は4月1日以降の助成事業の対象となりませんが、昨年、ワクチン供給不足により接種ができない期間があったことを踏まえ、市では救済措置として、3月末までに市の助成事業により1回以上接種した方は、接種スケジュール内の残りの接種分は助成対象とする予定です（期限は10月末）。現在中学3年生の女子で費用助成を利用して接種を希望する方は、3月末までに最低1回は市内協力医療機関で接種を受けてください。

※正式な決定は3月の市議会の承認後となるため、その後の「広報みたか」および市ホームページでお知らせします。

三鷹のまちで探す・見つける・セカンドライフ

平成23年度セカンドライフ相談会

地元三鷹で新しい活躍の場を探しませんか？　みなさんのセカンドライフをしっかり応援するために、次の3団体が主催、市後援で相談会を開催します。

◎公益社団法人三鷹市シルバー人材センター

定年後も仕事をしたい方を対象に比較的負担の軽い就業を紹介し、働くことを通じて地域社会への参加を支援しています。

◎無料職業紹介所　わくわくサポート三鷹

おおむね55歳以上の方の仕事探しと、企業の求人活動をサポートする、無料の職業紹介所です。

◎三鷹いきいきプラス（三鷹市高齢者社会活動マッチング推進事業）

シニアが気軽に楽しく活躍することを目標に、社会活動マッチング事業や交流会などを行います。現在2000人以上の会員が活躍しています。

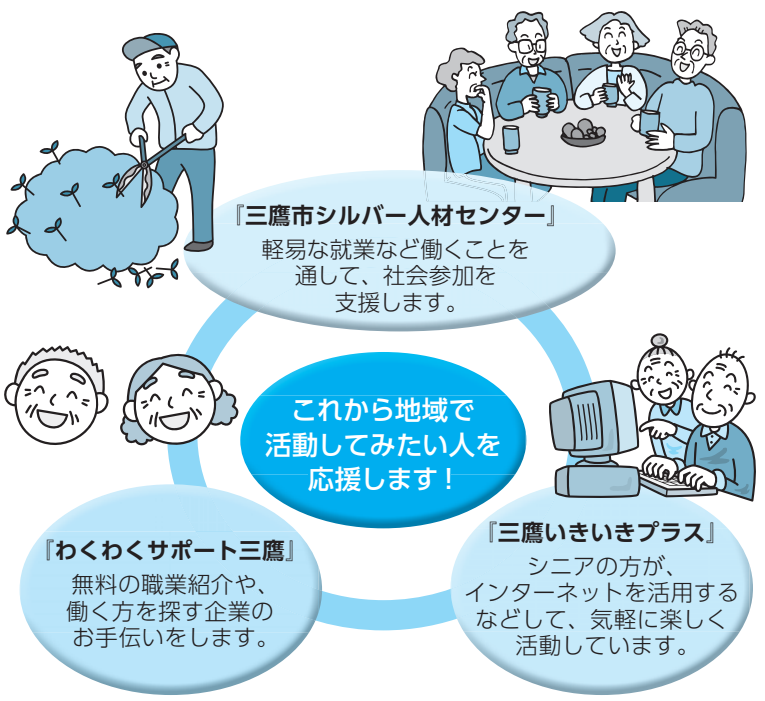
人 おおむね55歳以上の方

日 2月25日㈯午前10時30分～3時

所 三鷹駅前コミュニティセンター

申 当日会場へ

問 三鷹市シルバー人材センター☎0422-48-6721



休日・夜間・緊急時の診療はこちらへ

休日（日曜日、祝日、年末年始）や夜間など医療機関が休みのときの救急に備え、急病患者の初期治療と応急処置を行っています。受診の際は、必ず健康保険証をお持ちください。　問 総合保健センター☎0422-46-3254

①休日診療所（内科・小児科）
午前10時～11時45分
午後1時～4時30分

②休日準夜診療所（内科・小児科）
午後6時～9時30分

③小児初期救急平日準夜間診療所（こども救急みたか）
午後7時30分～10時30分
（受付は午後10時まで）

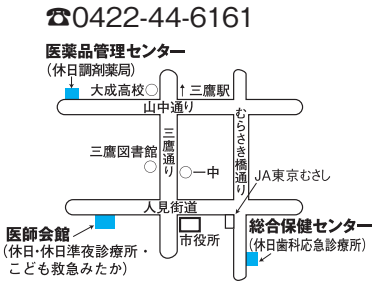
①～③はいずれも
三鷹市医師会館（野崎1-7-23）
☎0422-24-8199（ハイキュウキュウ）

④休日歯科応急診療所
三鷹市総合保健センター
（新川6-35-28）
☎0422-46-3234
午前10時～11時45分
午後1時～4時

⑤休日調剤薬局
三鷹市医薬品管理センター
（上連雀7-4-8）
☎0422-49-7766
午前10時～午後4時30分
午後6時～9時30分

⑥医療機関案内（24時間）
◆三鷹消防署　☎0422-47-0119
◆東京消防庁救急相談センター
短縮ダイヤル#7119
（プッシュ回線のみ）
☎042-521-2323（多摩地区）
☎03-3212-2323（23区）
◆東京都保健医療情報センター（ひまわり）
☎03-5272-0303

⑦市内救急指定病院
◆杏林大学医学部付属病院
（新川6-20-2）
☎0422-47-5511
◆野村病院（下連雀8-3-6）
☎0422-47-4848
◆三鷹中央病院（上連雀5-23-10）
☎0422-44-6161



認知症を知ろう

認知症サポーター養成講座

問 地域福祉課☎内線2663

講師は認知症キャラバン・メイトの佐久間美苗さん。

◆認知症サポーターとは？

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、身の回りの認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。たとえば、「友人や家族にその知識を伝える」、「認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める」、「隣人あるいは商店・交通機関といった街で働く人として、できる範囲で手助けをする」、など活動内容は人それぞれです。

この講座では、認知症とは何か、認知症の人への接し方の心構えなどを分かりやすく学びます。

※受講者全員に、認知症サポーターの印となるブレスレット（オレンジリング）を差し上げます。

主 連雀地区住民協議会、市

人 40人

日 3月13日㈫午後2時～4時

所 連雀コミュニティセンター

申 直接または電話で同センター☎0422-45-5100へ（先着制）